

# 腹部エコー マニュアル

作成日 2020年3月26日

改定 2024年7月1日

改定 2025年6月17日

作成担当 奥畑

## 【準備】

### PC・プリンター

《健診支援システム・STELLAR Order》

- ① KenshinNKK を立ち上げ、自身の ID（又は PC 端末の ID）でログインする。
- ② メニューボタン→データ初期化→実行→キャンセルの順にボタンを押し初期化を実施。
- ③ 設定状況の確認ボタン→印刷→再印刷は **いいえ** →キャンセルの順に押しプリンターを設定。
- ④ 通信テスト/設定ボタン→設定が ON になっている状態で通信テストを実施。
- ⑤ STELLAR Order も支援システムと同様の ID で起動させる。

### ウォーマー・超音波装置

《機器の立ち上げ》

- \* おしぼりの補充  
使用済みおしぼりと洗濯するタオルを入れるカゴをそれぞれ準備する。
- \* 電源を入れ、立ち上げておく。

## 【検査フロー】

- ① QR コードを読み取り受診者名を確認し **登録** する。
- ② レポートが自動で開くので **前回画像** で所見を確認してから検査を始める。
- ③ シールが **21** 枚発行されるので、**枠なし:チェック、枠あり:確認用として各々貼付** 使用する。 **※枠無しシールのみ発行されます。（2025/06/17 より）**
- ④ 装置の **Get Work list** にて患者情報取得する。
- ⑤ **開始** の前には検査項目（Abdomen、Breast、Carotid、Thyroid）を選択後、受診者情報を連携し、本人確認をしてから検査を始める。装置本体へ情報が連携されない時は再送し、装置本体側で再度取得をする。
- ⑥ 検査を開始し、操作手順に沿って観察する。必要に応じて計測をする。

## 【操作手順】

### 受診者の呼び込み →検査開始

- ① 室内の準備が整った上で\*1、受診者を番号で呼び入室させる。

\*1：ベッドにはバスタオルを敷き、まくらを置く。次亜塩素酸水で消毒を都度行う。ゼリーふき取りはレンタルのおしぼり、乾拭きはペーパータオルを使用する。女性乳腺はフェイスタオルを提供する。

### 検査終了 →レポート作成

- ① ゼリーを拭き取り受診者を退室させる。
- ② ステラに、手順\*2に沿って所見を入力しレポートを一次確定の状態にする。

\*2：別紙（所見入力の取り決め）参照

## 【検査結果の取り扱い】

- ① レポート入力

・所見のない場合

異常なしを入力し一次確定

・所見ありの場合

部位・所見を入力

所見画像をすべてレポートに貼り付け、一次確定

- ② 二次読影に提出(伊勢崎業務部)

- ③ 読影確認\*3

・健診部共有 →個人別フォルダー →★エコー確認用 →依頼のフォルダー →未開封のフォルダーの PDF を印刷し、読影の内容を確認する。

・\*3：担当者が専用のアカウントで実施する。別紙（所見入力の取り決め）参照

## 【日常点検】

- ① 使用環境に問題がないか確認：

・室内温度・装置背面のファン部分が塞がっていないか・キャスターの固定

- ② プローブの状態確認：

・プローブ表面の傷やひびなどの破損・（ゲインを上げ拡大画面で画像の欠損がないか）

③ 機器の清掃

- ・プローブ・モニター・プローブホルダー・ゼリーウォーマー・操作パネル  
(週末のみフィルターの状態確認と清掃)

④ 消耗品補充

- ・ゼリー・おしぼり・タオル・ペーパー

**【機器メンテナンス】**

- ① プローブの接続およびプローブケーブル・電源ケーブルの絡み、折れ曲がりや絶縁破損はないかの確認
- ② プローブのコネクタ(本体接続部分)のひび割れ、破損、ケーブルの絡みがないようにする
- ③ LANケーブルなどの接続確認

**【業務上の注意事項】**

腹部超音波は胃X線検査、胃内視鏡検査の前に実施する